

教育機会確保法関連の議連総会でレポート～1年後の法改定に向けて

12月3日、フリースクール等国会議連からのお招きで、衆議院第一議員会館での議連総会に出席しました。2年前に制定された「教育機会確保法」については、法令で3年後に改定される旨が定められています。つまり、あと1年後に文言の修正等、行われる予定です。それで、実際に現場の声を聴こうということで関係団体に声がかかけられ、チア・につぼんからも率直な声を聴かせてくださいとのことでした。詳細は別紙にまとめましたのでご参照ください(9～11ページ)。

ポイントとしては、現在、教育委員会等からの不条理な圧力は5%ほどはあります。しかし、「教育機会確保法」を特集したチア・マガジン(43号～46号)の4冊や、コンベンション(参加者約820名)やサマーキャンプ(約220名)、白馬セミナー(約440名)のパンフレット等を提示・提供し、愛と祈りと礼節をもって毅然と説明する場合、相手は敬意や理解と礼節をもった対応へと変化していくのが現状です。

「多様な学習活動の重要性を鑑みる」との文言が基本理念を始め、3カ所に明記された「教育機会確保法」の効果は大きいことを感謝と共に伝えました。

改定については、文言等、微調整の必要性はあるかもしれませんが、基本的には現状でok、周知

活動には議連や文科省、現場の私たちが尽力する旨を要望しています。

現在の法律条文は2年あまりの審議の紆余曲折の中で、あいまい模糊とした点があります。聖書的に見れば、そこが本当に良かった点です。なぜなら、多様な教育がokとはっきりと打ち出されれば、細かな定義論争になり、前回のような「教育委員会による許認可制」「月1回の家庭訪問制」といった規制的な法案が再浮上してくるリスクがあります。それよりは、あいまいなゆえに、自由の尊重が保障されている現在の法文が良いという考えです。

あいまいさにとどめている点は、ホームスクーリング先進地のアメリカにも近いです。カリフォルニア州では「私立学校」として届けなければならないという法律がホームスクーリング合法の根拠となっています。我が家も「チア・につぼんスクールロサンゼルス校」(生徒2名、教師2名)として届け出た時期もあります。テキサス州ではそもそも教育は親の責任の下で行われるものという理念のもと、行政は介入せず、「義務教育法」もありません。

2年前に制定された「教育機会確保法」は、「多様な学習活動の重要性を鑑みる」との文言がしっかりとあり、ホームスクーリングへの圧力はかけられず、一方で、その他は踏み込んでいないので規制等もなく、神様の不思議な御手の中で、ちょうど良い法律となっているのではと思っています。

一つ、今後の課題としては、大学進学に関して、AO入試、推薦入試の場合には、高校卒業が必須条件となっている大学がまだ残っているところがあるようです。そのあたり、就職試験等も含め、何かホームスクーラーに不公平なところがあるとすれば、良くないと思います。昨今の国公立大医学部入試で、男女差等を理由に、合否に不当な操作が行われていたことと同様です。チアとしても調査を進め、必要があれば、議連の皆さんに提案をしていこうと思っています。

以上、概観としては、ホームスクーリングを進める環境整



多様な教育に関する「教育機会確保法」議連総会

備が進んでおり、感謝な状況です。そして日増しに、ホームスクーラーたちの実績が伸びている状況でもあります。とはいえ、アメリカの状況を見ても、もぐらたたきのように法的な妨害が出てくる歴史があります。引き続き、お祈りと共に、何か圧力等かけられたりすることがあれば、ぜひチア・につぽんにお知らせいただき、共に切り開いていければと思います。

また、ホームスクーラー、チャーチスクーラーの皆さんの進路・就職状況について、2019年春版作成に向けて、リサーチを進めていければと思っています。2016年春の時点でわかっている情報はチア・マガジン44号20～21ページに掲載しています。それ以降のホームスクーラーOB・OGの進路・就職先情報をお分かりの皆さんは、ぜひチア・につぽん事務局にご一報いただければ幸いです。そうした進路や実社会への貢献の積み重ねが、さらに今後のホームスクーリング環境整備につながる力となっていき、後輩たちや孫たちの世代の助けになっていきますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いします。

日頃の皆様のご尽力に改めて敬意を表します。聖書が命じているホームスクーリングという教育方法は、まさに教育の神髄であり、最先端の最強の教育方法であること、また日本社会もそれを認知し始めていることを感じました。もちろん、困難なことや、不十分な私たちによる失敗等もあると思います。それにくじけることなく、神様を見上げて、悔い改めと忍耐を持ち、まっすぐに進んでいければと思っています。

キリストにある圧倒的な勝利者

「しかし、私たちは、私たちが愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです」(ローマ8:37)

2019年に向かうにあたり、神様のあわれみの深さと、助けと祝福をますます胸に刻んでいます。不十分な私たちではあったと思いますが、神様は本当に憐れみ深く、忍耐をもって接し、助け、導いてくださっている、本当に光栄で不思議なことだなーと思います。新年は改めて研鑽し、成長し、より一層、良き貢献ができればと祈っているところです。

良きクリスマス、圧倒的な勝利の2019年、皆さんへのますますの祝福を祈っています。

心から感謝しつつ

稲葉 寛夫